

鉄骨足場

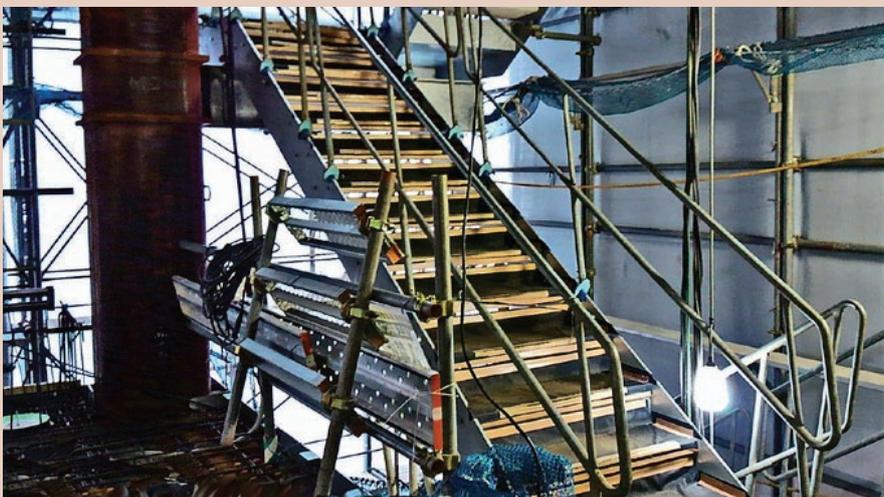




スカイブリッジ使用例



スカイブリッジ使用例

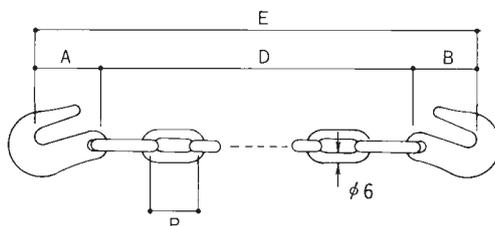


鉄骨階段手摺使用例

足場チェーン

仕 様

足場チェーン



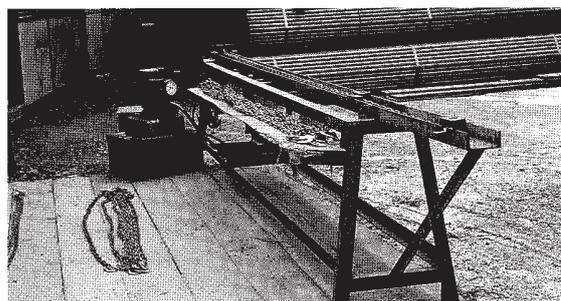
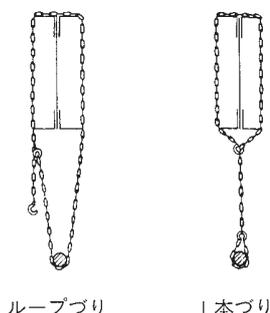
記号	フック		チェーン			有効長さ (テンション 20kg) E	個 精度 ± P	kg 質量
	mm 内長 A, B	個 数	mm 全長 A + B	mm 内線 P	個 数			
KC-2	45	2	90	37	51	1887	1 P	1.32
KC-3	45	2	90	37	79	2923	1 P	1.93
KC-4	45	2	90	37	105	3885	1 P	2.54
KC-5	45	2	90	37	133	4921	1 P	3.15



足場チェーン

強度試験

破壊試験荷重 21.5kN(2200kg)
耐力試験荷重 7.84kN(800kg)
許容荷重 (仮設工業会使用標準による)
(一本吊) 2.35kN(240kg) (ループ吊) 4.21kN(430kg)



1本毎の7.84kN(800kg)耐力試験

使用上の注意事項 (安全衛生規則に基づく)

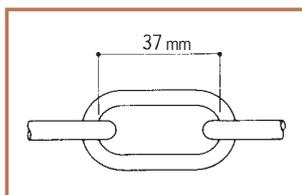
●つり鎖の支点の安全係数について

作業床の最大積載荷重は、つり足場において、(中略)つり鎖及びフックの安全係数が5以上、(中略)となるように定めなければならない。(562条)セフティチェーンの破壊強度は21.5kNですから、支点荷重は3.92kN以下でご使用ください。



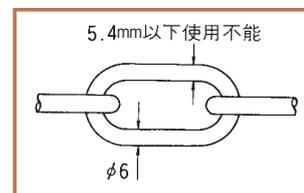
●つり鎖の使用不能品について(伸び)

チェーンの伸びが、当該つり鎖の造品されたときの長さの5%をこえるもの。(574条、ニ・イ)セフティチェーンKC型の1リンクの内径は37mmですから 38.85mm以上に伸びたものは使用してはいけません。



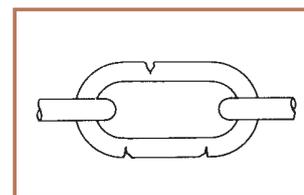
●つり鎖の使用不能品について(リンク)

リンクの断面の直径の減少が、当該つり鎖が製造されたときの当該リンクの直径の10%をこえるもの。(574条、ニ・ロ)セフティチェーンKC型の線径は6mmですから、5.4mm以下に細くなったものは使用してはいけません。



●つり鎖の使用不能品について

き裂があるもの。(574条、ニ・ハ)

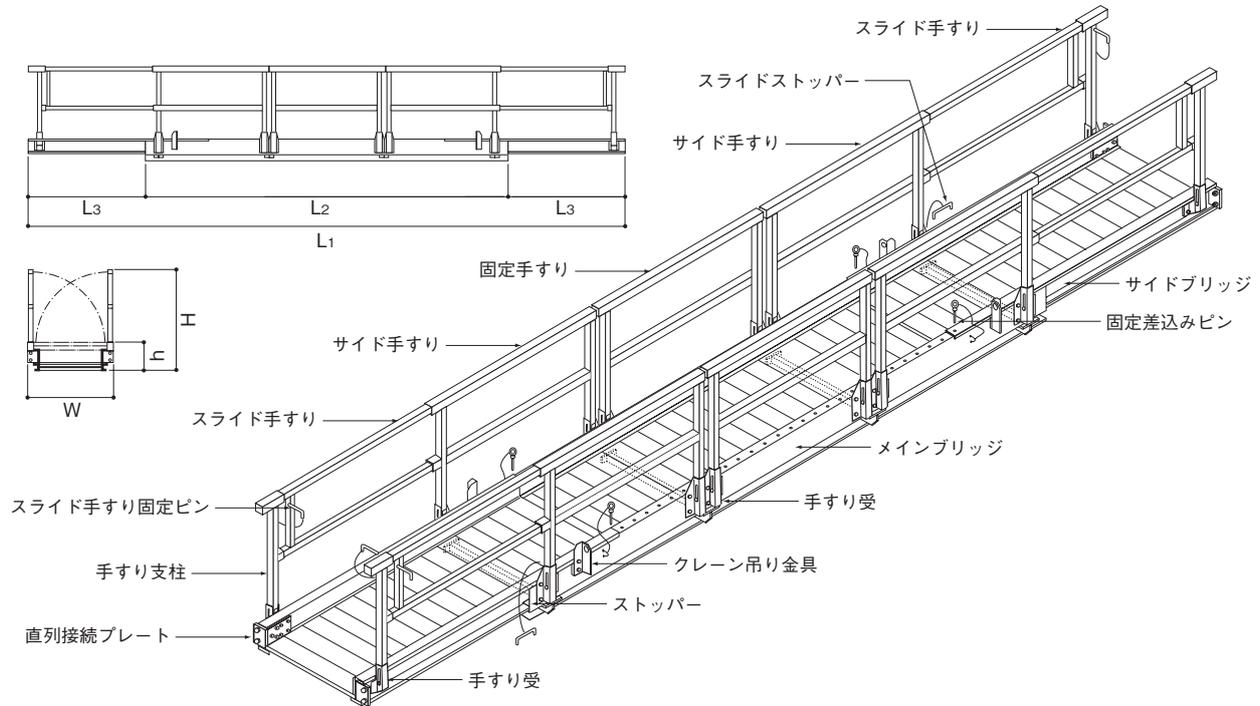


スカイブリッジ (アルミ合金製仮設通路)

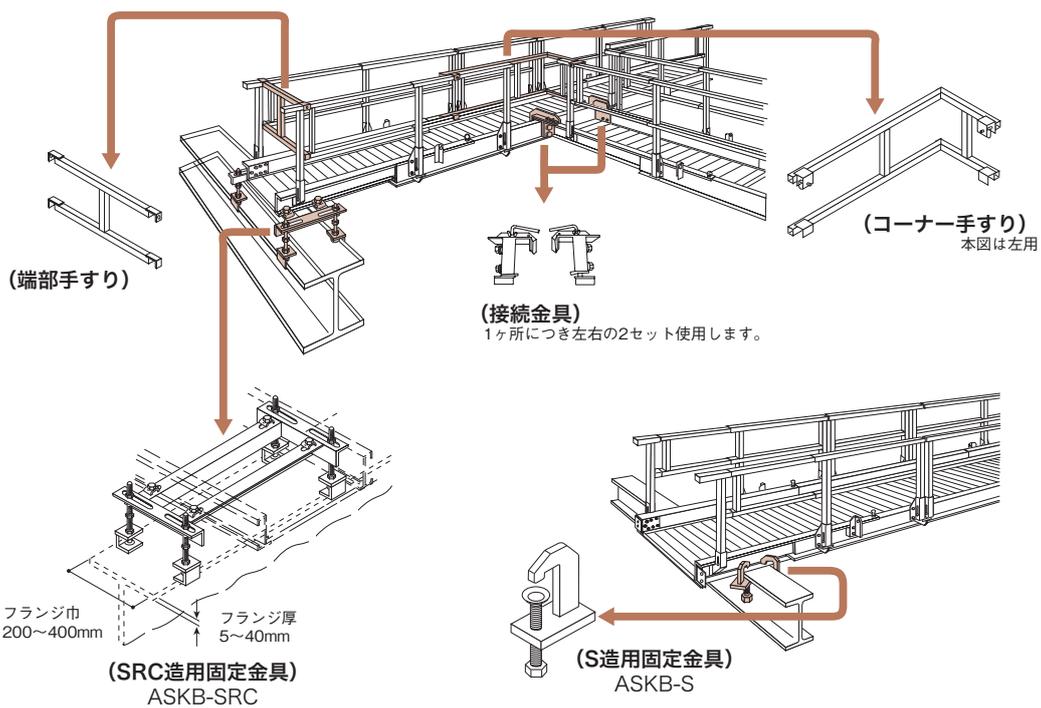
仕様

スカイブリッジ

ASKB



記号	全長 (L ₁) mm	メインブリッジ 長 (L ₂) mm	サイドブリッジ 長 (L ₃) mm	全巾 (W) mm	全高 (H) mm	折たたみ高 (h) mm	質量 kg
ASKB 43-66	4350~6600	4000	1300	912	995	310	165
ASKB 63-96	6350~9600	6000	1800	912	995	310	220



スカイブリッジ (アルミ合金製仮設通路)

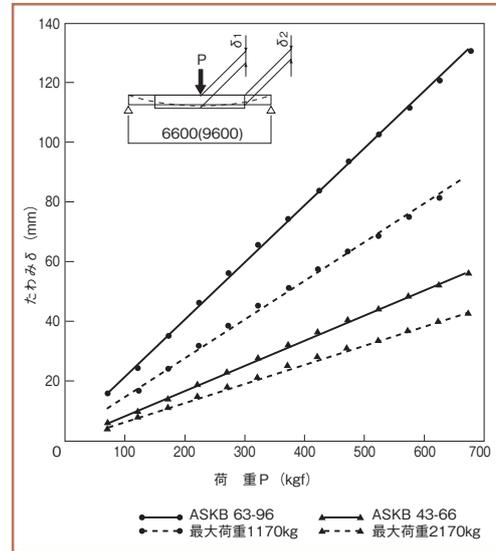
スカイブリッジ (アルミ合金製仮設通路)

架設計画

●架設条件と許容積載荷重

接続条件	架設条件		許容積載荷重	備考
	架設例	支持間隔(mm)		
		ASK 43-66	ASK 63-96	
単独使用				
直列接続		$L \leq 6600$ $L1 \leq 1300$	$L \leq 9600$ $L1 \leq 1500$	2.94kN (300kg) / スパン
		(LO=H鋼フランジ巾 L1=張出量)	(LO=H鋼フランジ巾 L1=張出量)	
直交接続		$L \leq 6600$	$L \leq 9600$	2.94kN (300kg) / ブロック
	(1ブロックでの架設例)			

●荷重によるたわみ量の変化



端部は必ず4点固定してください

●架設上の注意事項

[1] 荷重制限

スカイブリッジの架設は「架設条件と許容積載荷重」の表に従い、表以上の荷重とならないようご計画ください。

[2] 直列接続

直列に接続される場合は、支持梁上に接続点ができるようにご計画ください。

割付上、やむをえず接続点が支持梁上にこない場合は、右図のように張り出し量に制限が有りますのでご注意下さい。

[3] 直交接続

接続部は必ずメインブリッジの桁に接続金具を使用し、確実に固定して下さい。

また、接続部での手すり間隔が著しく広い場合は、コーナー手すりをご使用ください。

[4] 端部

連絡路に接続しない最端部には端部手すりをご使用ください。

[5] 揚重

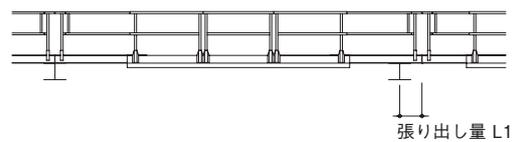
クレーンによる吊り上げや解体・移設時の吊り降ろしは、4ヶ所のクレーン吊り金具を利用し、本体に直接ワイヤーロープ等をかけないでください。

手すりを立てたまま行なうときは、手すりに荷重がかからないようにワイヤーを掛けてください。

なお、スカイブリッジの吊り上げは1台づつ行なってください。

接続したままでは吊り上げられません。

直列接続部での張り出し量



●ASKB 43-66 $L1 \leq 1300$ ●ASKB 63-96 $L1 \leq 1500$

[6] 端部の固定

① サイドブリッジが支持梁から張り出さない場合
S造用固定金具4個、またはSRC造用固定金具の4ヶ所の固定部で確実に固定してください。

② サイドブリッジが張り出す場合
支持梁との固定は上記①と同じです。但し、サイドブリッジの張り出し量は直列接続の場合と同じ制限をお守りください。

また、張り出した反対側は固定金具等により、はね上がりを防止してください。

[7] サイドブリッジのスライド防止

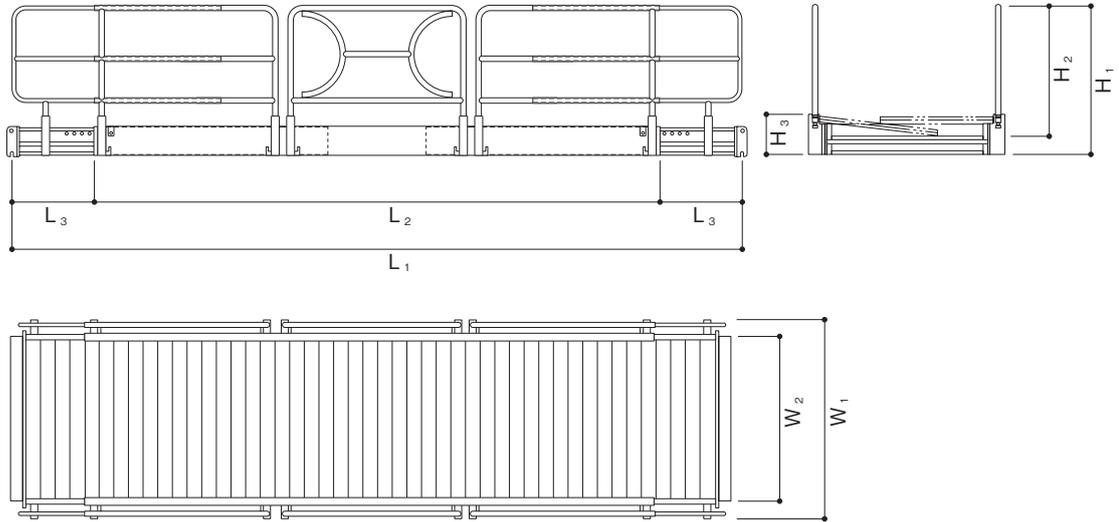
トラックでの運搬やクレーン等で移動させる場合は、必ずサイドブリッジ固定差込みピンまたはスライドストッパーでメインブリッジに固定してください。

ハイブリッジ

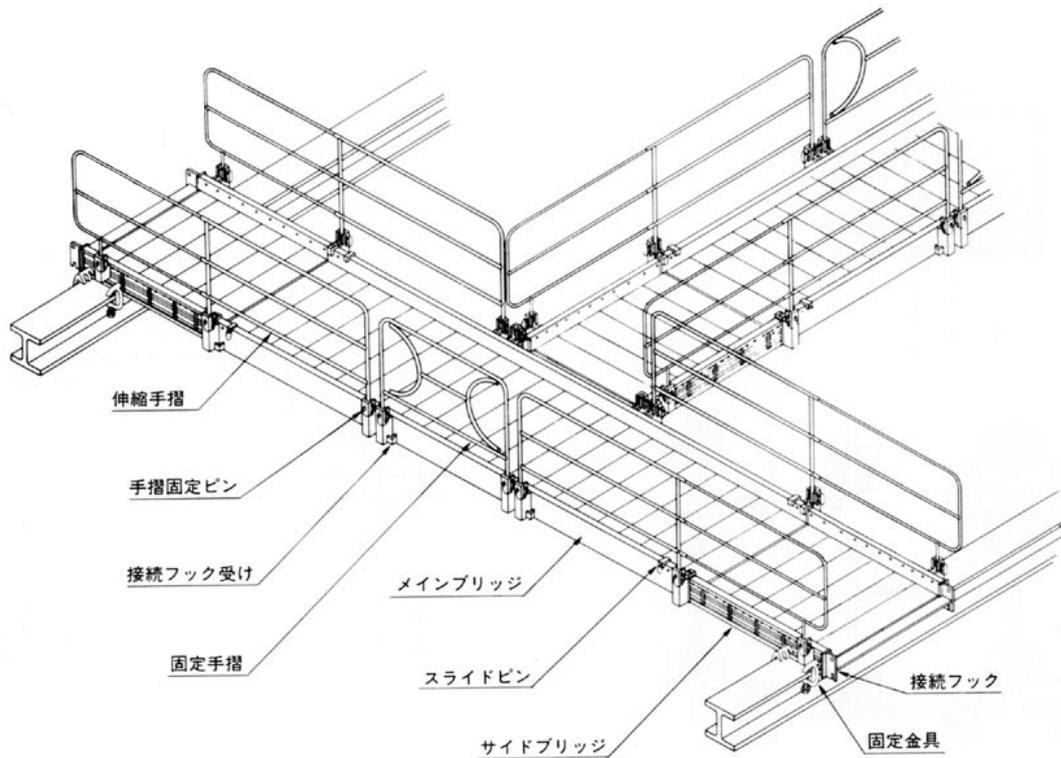
仕様

ハイブリッジ

HBAL



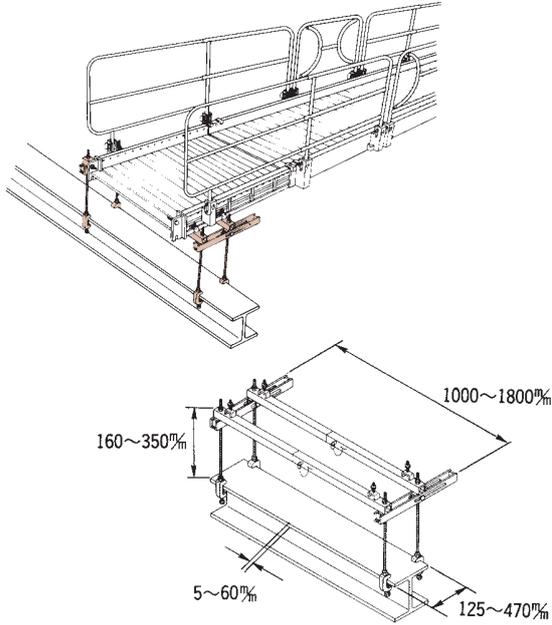
記号	全長 (L ₁) mm	メインブリッジ 長 (L ₂) mm	サイドブリッジ 長 (L ₃) mm	全巾 (W ₁) mm	通路巾 (W ₂) mm	全高 (H ₁) mm	手摺高 (H ₂) mm	折たたみ高 (H ₃) mm	質量 kg
HBAL 43-65	4340~6540	3840	250~1350	1330	1100	1021	901	275	227
HBAL 65-96	6540~9640	6240	150~1700	1330	1100	1021	901	275	314



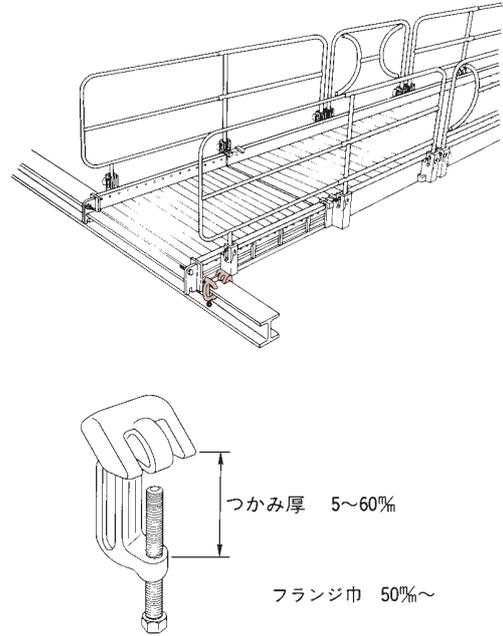
ハイブリッジ

ハイブリッジ

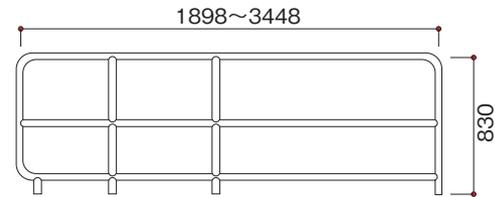
部 材



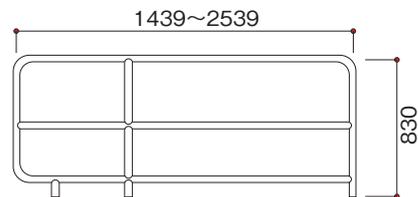
SRC造用固定金具 HBG-SRC (24.4kg)



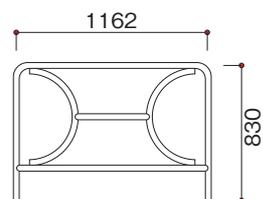
S造用固定金具 HBG-S (0.8kg)



伸縮手摺 HBG-133ST (17.0kg)



伸縮手摺 HBG-83ST (12.3kg)



固定手摺 HBG-116KT (7.5kg)

部材名	HBAL 43-65	HBAL 65-96
ブリッジ本体 4365B	1	—
6596B	—	1
伸縮手摺 133ST	—	4
83ST	4	—
固定手摺 116KT	2	4
固定金具 S	8	8
SRC	(2)	(2)

*端部手摺はオプション品です。
直列接続の時、接続1ヶ所当り2枚の接続プレートが必要となります。
直交接続で固定手摺以外の場所で接続する時は、別途に取付金具が必要
です。
又、手摺も一部変更となります。

ハイブリッジ

架設計画

●架設条件と許容積載荷重

接続条件		単独使用	直列接続	直交接続
架設条件	架設例			
	支持間隔 (mm)	HBAL 43-65 (4340~6540) $4200 \leq L \leq 6400$ LO = H 鋼フランジ巾	$L1 \leq 1200$ (L1 = 張出量)	$L \leq 6400$
	HBAL 65-96 (6540~9640)	$6400 \leq L \leq 9500$ LO = H 鋼フランジ巾	$L1 \leq 1200$ (L1 = 張出量)	$L \leq 9500$
許容積載荷重		2.94kN(300kg)/スパン		2.94kN(300kg)/ブロック
備考		端部は必ず4点固定		

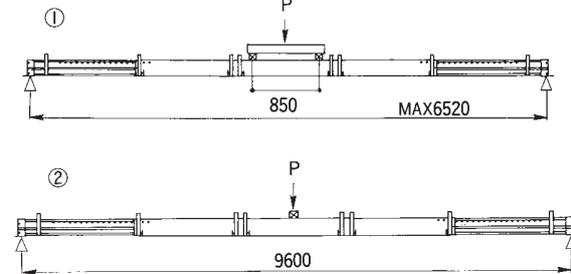
●荷重試験

荷重による変位

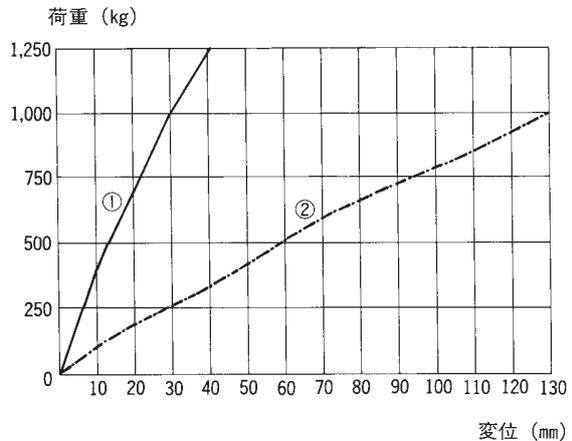
(1) 試験条件

- ① HBAL43-65、L=6520mm・巾=1100・初期タワミ=3mm
- ② HBAL65-96、L=9600mm・巾=1100・初期ムクリ=13mm

(2) 試験方法



(3) 荷重-変位グラフ



●架設上の注意事項

(1) 荷重制限

ハイブリッジの架設の際は、架設条件と許容荷重の表に基づいて計画して下さい。

(2) 直列接続

ハイブリッジは支持梁上に接続点ができるように設計されていますので、連続使用の場合には、必ず接続箇所が梁上に来るようにして下さい。割付上、支持梁より張り出して使用する場合は、架設条件の張り出し量の制限を必ず守って下さい。

(3) 直交接続

交差接続される場合には、接続フックを確実に引っ掛けボルトで左右2ヶ所を必ず締めて下さい。

(4) 端部

通路最端部には、必ず端部手摺を取り付けて下さい。

(5) 固定

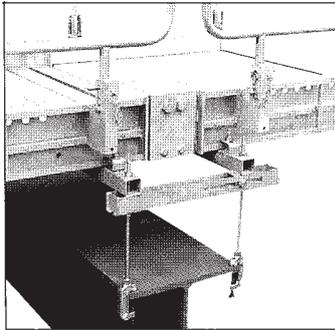
ハイブリッジの転落、ズレ防止のため、S造用固定金具4個または、SRC造用固定金具の4ヶ所の固定部で必ず支持梁に固定して下さい。(支持梁1本当たり)

(6) 移動時の注意

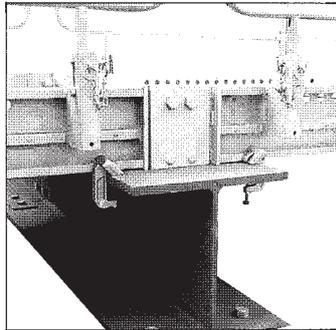
ハイブリッジをトラックで運搬する場合、またはクレーン等で移動する場合は、サイドブリッジにスライドピンを差し込み、固定金具で確実に締め固定して下さい。

ハイブリッジ

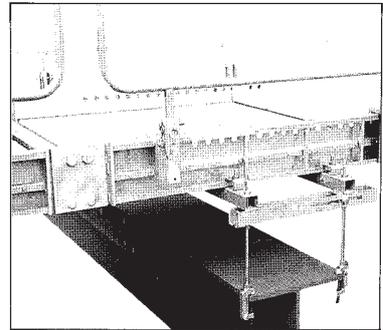
(直列接続部) SRC造



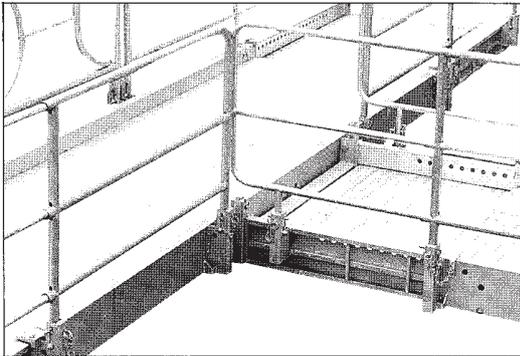
(直列接続部) S造



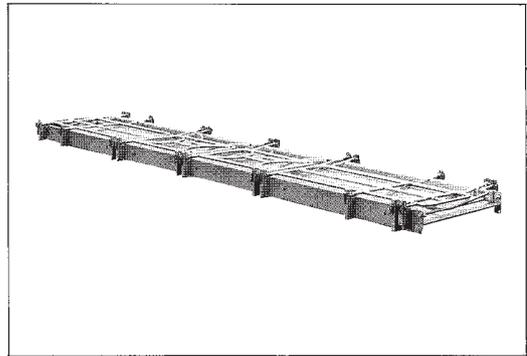
(直列接続部) 張出し



(直交接続部)



(折り畳み状態)



ハイブリッジ

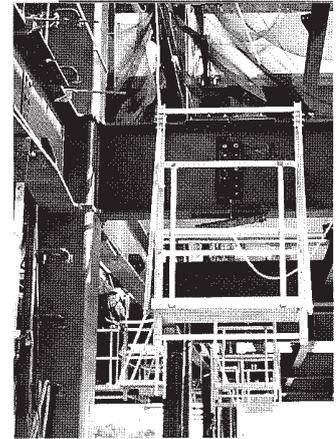
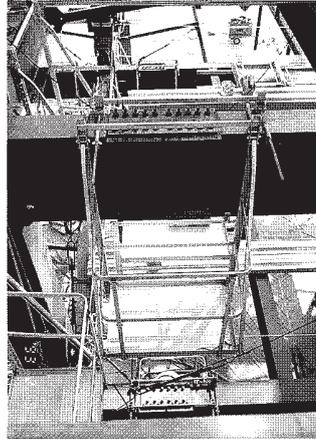
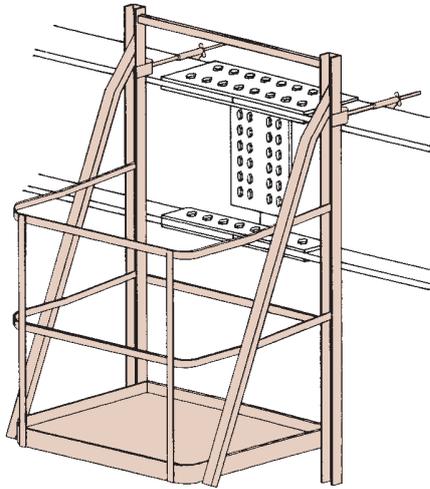


スカイハンガー

スカイハンガー

SH

●アルミ製鉄骨足場（柱・梁接合用）



仕様

記号	L・長さ mm	H・床面調節高さ mm	質量(取付金具含) kg
SH-750	750	1505・1305・1205	18.5
SH-1050	1050		20.5
SH-1300	1300		23.0

*許容荷重1.96kN(200kg)安全率5倍

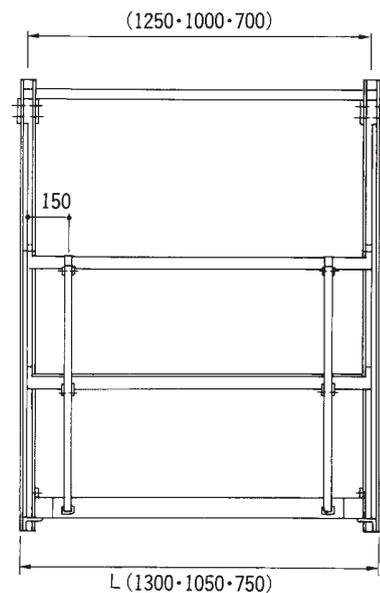
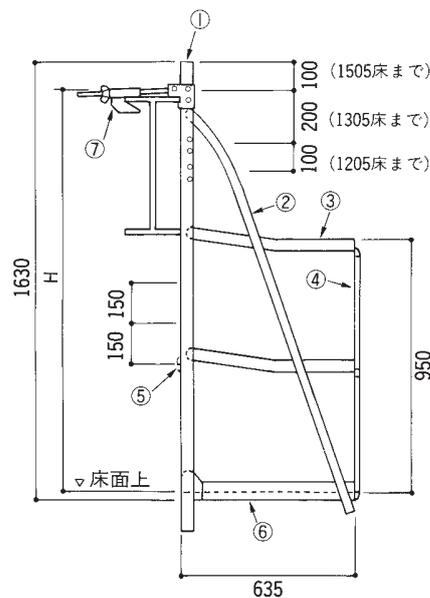
* SH-1050・1300 は巾木を取付可能です。

部材

番号	部材名
①	主材
②	斜材
③	手摺
④	連結材
⑤	横継ぎ材
⑥	足場枠
⑦	取付金具



折りたたみ時の厚さ

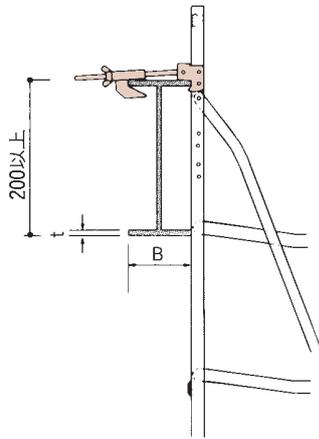


●取付金具⑦および、横継ぎ材⑤の高さは3段階に調節できます。

スカイハンガー

スカイハンガー

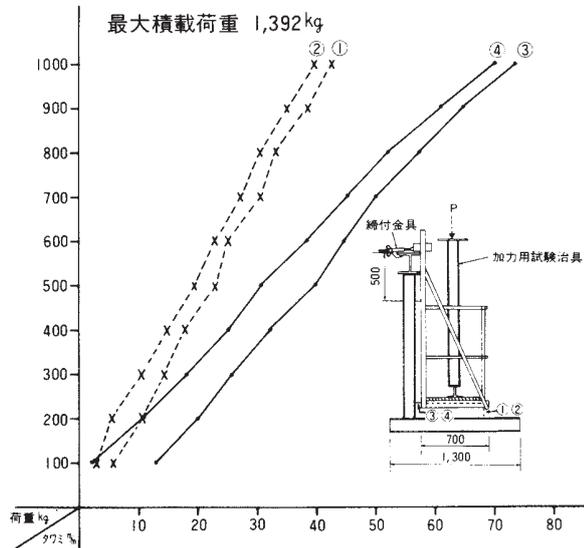
取付金具



B寸法 mm	t寸法 mm
140~500	7~60
140~500	50~120

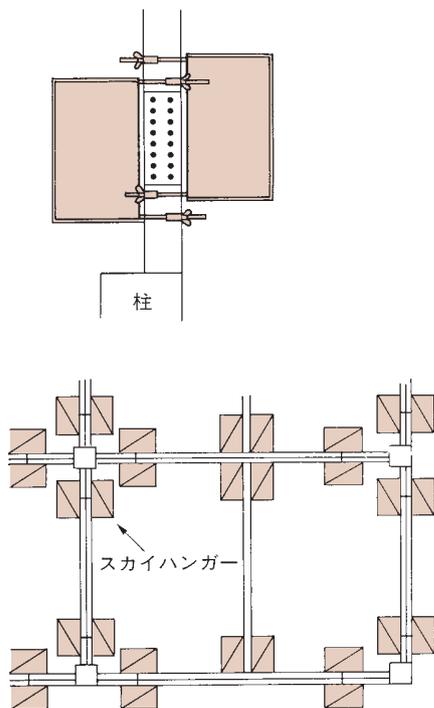
試験結果

労働省産業安全研究所におけるテスト結果（昭和57年7月30日）

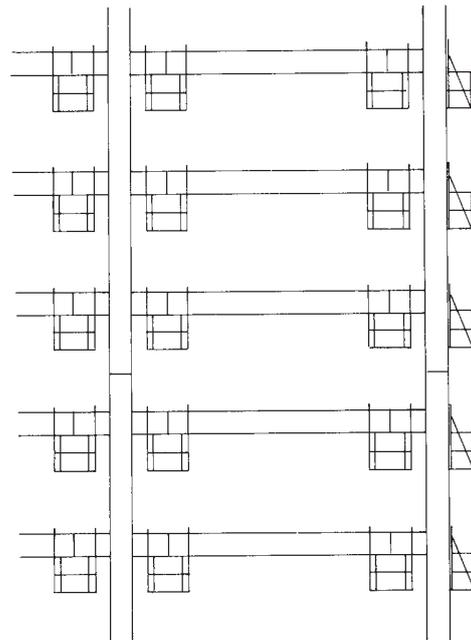


スカイハンガー

取付図



(平面図)

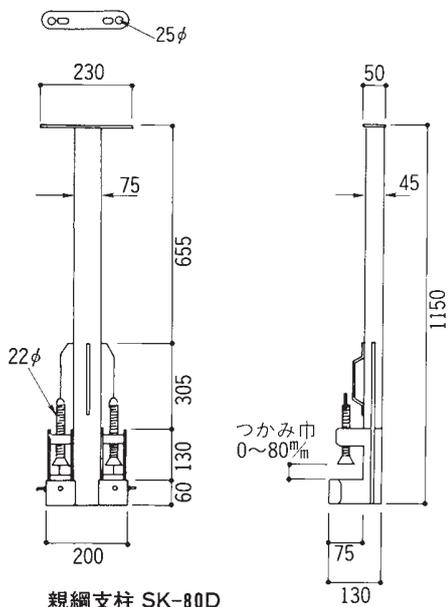


(立面図)

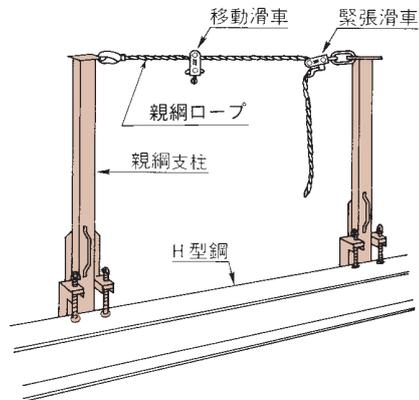
親網支柱

親網支柱

仕様

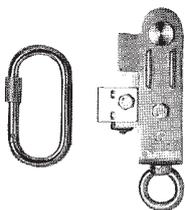


親網支柱 SK-80D



セット内訳 (1スパン9m)

品名	質量 kg	数量
親網支柱	8.2	2
緊張滑車	0.6	1
移動滑車	0.5	1
親網ロープ10m	2.2	1



緊張滑車 JK-1D

作業時に水平親網がゆるむことはありません。常に、親網の緊張を保ち、なお親網には無理をかけずに作動できるように、設計されています。



移動滑車 AK-1D

この滑車は、作業時に横移動がスムーズに行えるだけでなく、もし作業者が転落したときは、ただちに衝撃荷重に対し作動し、最少限の落下距離で、墜落による二次災害を防止いたします。

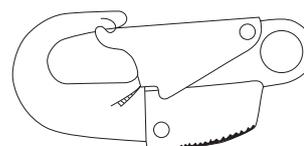
親網ロープ



(標準サイズ)

	質量 kg
7m・片フック RS-7	1.6
10m・片フック RS-10	2.2
15m・片フック RS-15	2.9
20m・片フック RS-20	3.7

単位質量	g/m	169
無荷重時ロープ直径	mm	16.1
破断強力	kN(t)	33.3 (3.4)
		31.4 (3.2)
破断伸度	%	45
		43

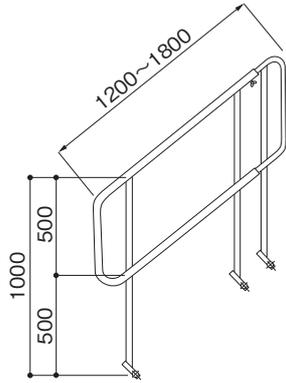


質量 345g
有効径 φ21mm
基穴径 φ20mm
全長 140mm

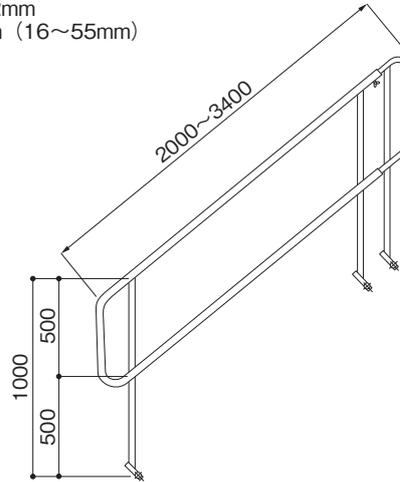
鉄骨階段手摺

鉄骨階段手摺

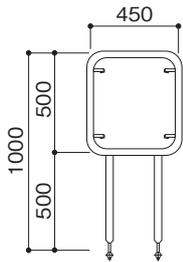
つかみ巾：0~22mm
ボルト頭径：24mm (16~55mm)



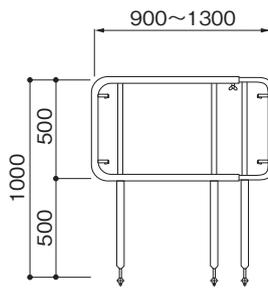
S-120 (11.9kg)



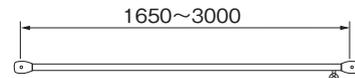
S-200 (15.3kg)



F-45 (5.2kg)



F-90 (10.1kg)

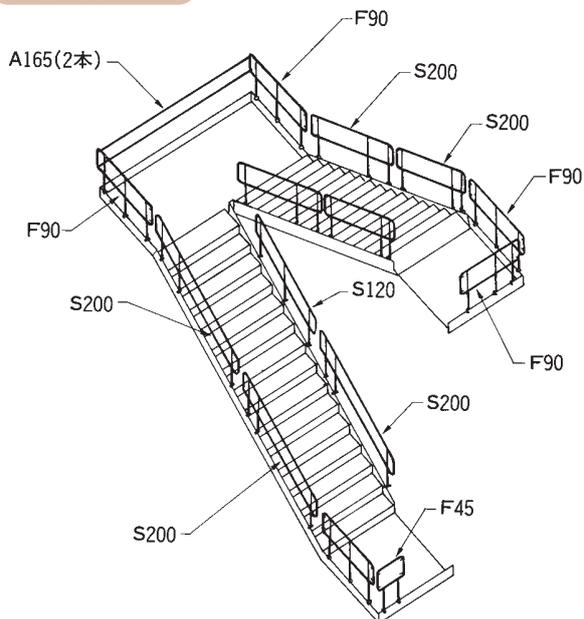


A-165 (3.6kg)



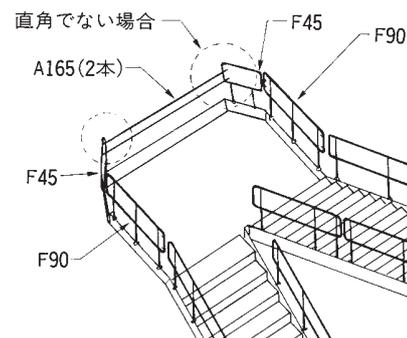
鉄骨階段手摺

取付図



鉄骨階段用クランプ
TC-34 (0.4kg)

踊場でF-45(90)とA-165の取付角度が直角でない場合、F-45にクランプを取り付け、クランプのグラビティロックにA-165をセットして下さい。

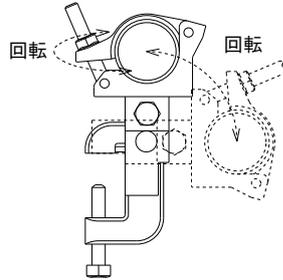


鉄骨クランプ・鉄骨階段ステップ・アイアンマン

鉄骨クランプ

KH-K

●質量………1.15kg

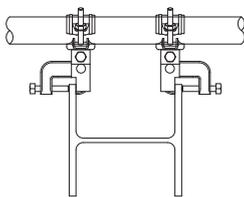


*兼用型
(水平固定・自在)
(垂直固定・自在)

鉄骨クランプの許容荷重

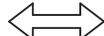
(ボルトの締付トルクは350kgf・cm) (2個1組とする)

3.09kN (315kg)



直交型

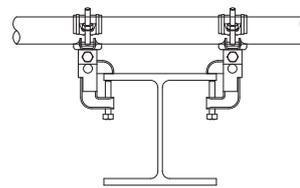
開き方向



力の方向

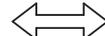
4.41kN
(450kg)

6.65kN (675kg)



平行型

引張方向



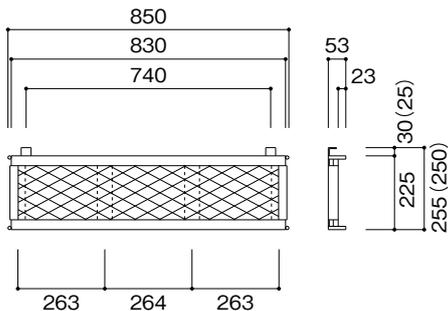
力の方向

3.09kN
(315kg)

鉄骨階段ステップ

TS-85

●質量………4.1kg

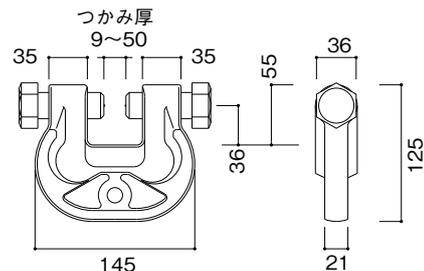


アイアンマン

AC50

●質量………2.6kg

●許容荷重………49kN(5.0t)
(開口耐力)



売買品

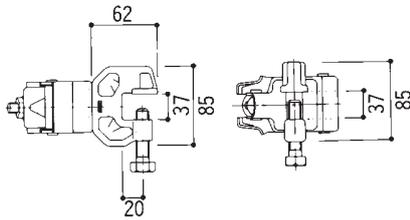
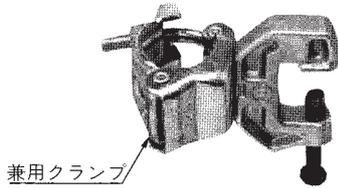
鉄骨クランプ・鉄骨階段ステップ・アイアンマン

アンクランプ・チェーンハンガー

垂直型

固定・AH-BC
自在・AH-BF

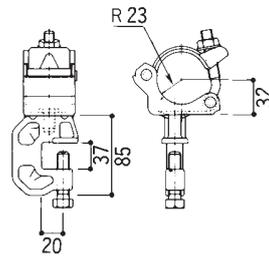
●質量……0.8kg



水平型

固定・AH-AC
自在・AH-AF

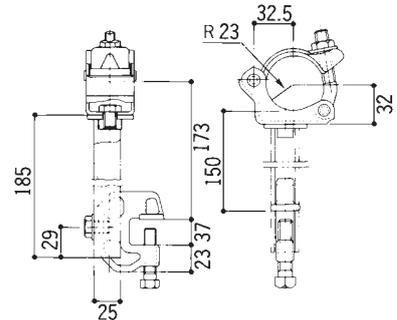
●質量……0.8kg



浮し型

AH-U

●質量……1.3kg

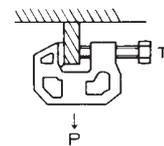
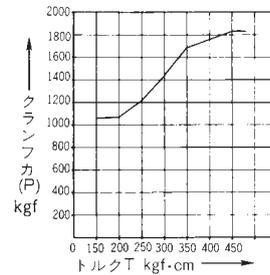


●使用上の注意事項

- 1) 締付けボルトの締付けトルクは2.45kN・cm(250kg・cm)で確実に締付けてください。
- 2) 手摺り支柱のスパン長は2m以内にして下さい。
- 3) 御使用前には必ず締付けボルトの点検をして下さい。
- 4) 各種形鋼フランジ先端をアンクランプ本体のくわえ部の一番奥に入れて締付けて下さい。

●試験結果

右図に示すようP方向の荷重を加えて、トルク変化におけるクランプ力最大値を求めた結果、その推移は下図に示す。



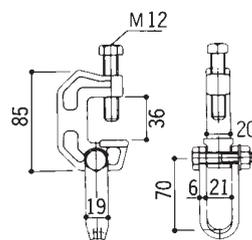
*関連商品 P新-18 参照

チェーンハンガー

AH-C



●構造



●仕様

口幅	5~36mm
許容荷重	4.90kN(500kgf) (引張強度)
質量	0.67kg
締付トルク	2.45kN・cm(250kgf・cm)
用途	足場チェーン吊用

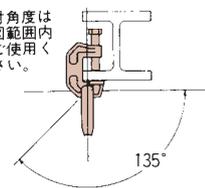
●強度 4.90kN

許容吊荷重は 500kg

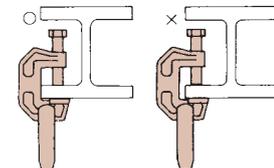
No.	最大荷重 kN(kg)
1	22.2(2265)
2	23.2(2370)
3	21.7(2220)
平均	22.4(2285)

●使用上の注意事項

- 取付角度は右図範囲内でご使用ください。



- 本体のくわえ部の一番奥に挿入して取付けて下さい。

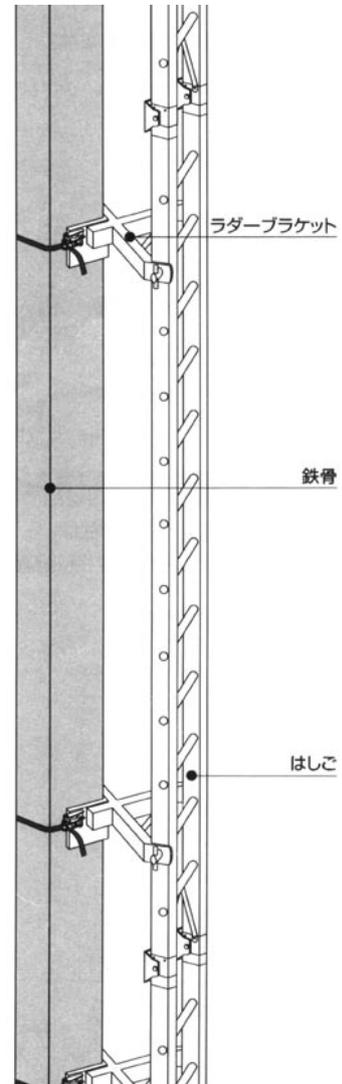
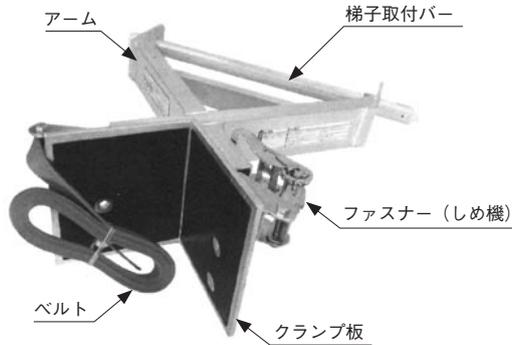


アンクランプ・チェーンハンガー

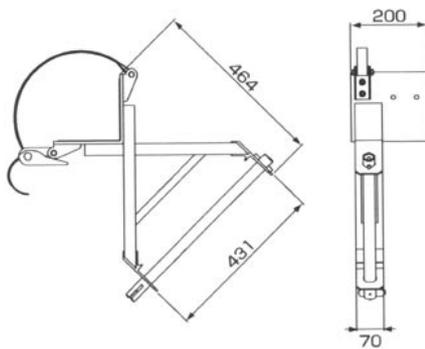
ラダーブラケット

ラダーブラケット LA-3065

- 質量……………4.4kg (ベルト、取付バー含)
- 許容荷重……………1.3kN(130kg)

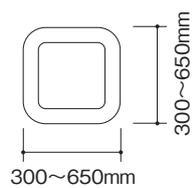


寸法図

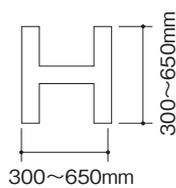


- *鉄骨柱（コラム柱専用）に仮設昇降用梯子の取付け金具です。
- *鉄骨柱への取付けは、ベルトの締付け方式なので、柱を傷つけることなく、脱着が短時間で可能です。
- *鉄骨柱の溶接等の作業が不要です。
- *一辺が 300 ～ 650mm のコラム・H 型・I 型の鉄骨柱に設置可能です。

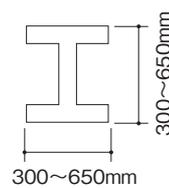
指定鉄骨材



コラム型



H型



I型